



いきいき細谷っ子 NO.10 冬休み号

令和5年12月25日

下野市立細谷小学校長 坂本美保

夏休み明けから、駆け抜けるように4か月が過ぎました。子どもたちの学習や活動、笑顔やがんばりを目にする度、カメラを向けてきましたが、それらを十分にお伝えできず、追いつかない日々でした。毎日、その時その時を頑張る子どもたちの姿はまぶしいです。

今月は、12月8日(金)家庭教育学級・感謝の会・スマイルフェスタ、12月19日(火)授業参観・音楽鑑賞会・健康カフェと、様々な行事で保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただく機会が続きました。お忙しい中、ご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、学級で協力して発表の準備に取り組んだり、自分の特技を披露したりと普段と少し違う姿もたくさん見せてくれました。

市内小中学校でも、インフルエンザによる学級休業・学年休業に見舞われるなか、本校でも3年生、2年生がそれぞれ3日間ずつ学級休業となりました。登校後のお迎えのお願いとなり申し訳ございませんでしたが、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。ご家族の皆様や職場の方ではいかがでしょうか。コロナ禍の3年間では、インフルエンザ感染をほとんど耳にすることはありませんでしたが、引き続き感染症対策に配慮しながら、教育活動に取り組んでまいります。令和5年、大変お世話になり、ありがとうございました。どうぞ、皆様お身体にお気を付けて、よいお年をお迎えください。

感謝の会・スマイルフェスタをしました



前半は「細谷っ子お助け隊(学校支援ボランティア)さん感謝の会」で全校合奏・ボディパーカッション・手話で歌う「Believe」を聴いていただき、お花を差し上げました。「ありがとうございます」の気持ちを皆でお伝えしました。後半は、「スマイルフェスタ」です。人権週間に合わせて行いました。「石橋中学校区心を育てる月間」「下野市いじめ防止強調月間」の取組の一環として各学級でつくった人権の標語や、各学級による学習成果の発表、「なんでも発表会」では特技が披露されました。ご参加くださった「お助け隊」の皆様からは、「生き生きした子どもたちの様子に感動しました。」「皆の前で発表し合えること、素晴らしい。」「発表を聴いて教えられました。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。頑張っている姿を応援しながら、見て、聴いて、拍手を送ることは、一人一人を大切にすること、人権を尊重することにつながっています。

「がんばりあうこと」「認め合うこと」を大切にしていきたいと思います。



家庭教育学級 ～子どもとの関わり方を考えよう～

下野市家庭教育支援チーム「ひばり」の皆様を講師に、家庭教育学級を実施しました。「子どもとの関わり方を考えよう～どんな言葉をかけていますか～」をテーマに参加型の講座を開いていただきました。最初こそ緊張感がありましたが、和やかな雰囲気でした。少人数でしたが、満足度は高かったようです。「講座を受け、あらためて自分がどうしているか、振り返るきっかけになりました。」「たくさん意見が聞けて、今後、学年が上がったときの参考になりました。」「ちょうど今、悩んでいる内容で、他の家族の対策法を聞いて、本当に参加してよかったです。参考にしてみようと思います。楽しかったです。」などの感想をいただきました。



授業参観・音楽鑑賞会・健康カフェ ご協力ありがとうございました



オルカブラスさんは、大阪・枚方市を拠点に全国各地でコンサートを行っているそうです。初めての栃木県で記念すべき演奏が細谷小とのことでした。素敵なクリスマスソングやどこかで聞いたことのある曲も初めての音楽にも夢中になりました。そして「ジッパ・ディ・ドゥーダー」を一緒に演奏していただいたばかりか、「紅蓮華」の生演奏でのボディパーカッションは、いつも以上にノリノリでかっこよく決まりました。美しい響きの金管アンサンブルに包まれた、豊かな時間でした。



いのちのおはなし

12月20日(水)2年生が市内の看護職ママのグループ「えがおのたまご」より「いのちのおはなし」の授業を受けました。自分が奇跡によって生まれてきたこと、赤ちゃんが自分もがんばって生まれ出ることを聞き、お母さんのお腹から生まれる疑似体験をしました。「がんばれ!」と応援し、生まれると「おめでとう!」と拍手をしました。そして新生児の赤ちゃんの人形を大切に優しく抱っこしていました。「自分達が生まれるのは奇跡なんだと思いました。」「いのちはこんなに大切なんだと知りました。」「お母さんのお腹の中は、こんな感じの場所だったんだとびっくりしました。」子どもたちは「大切ないのちのおはなし」をしっかりと受け止めていました。

